

氏名	高柳 雅朗	部署	共通教育科	職名	准教授
研究分野	解剖学、神経解剖学、解剖学教育				
学位	博士(農学)				
学歴	1991年3月 名古屋大学農学部卒業、1993年3月 名古屋大学大学院農学研究科博士課程(前期課程)修了、1996年3月 名古屋大学大学院農学研究科博士課程(後期課程)修了				
経歴	1996年4月 東邦大学医学部 助手、2019年4月 埼玉県立大学保健医療福祉学部 准教授				
所属学会(役職)	日本解剖学会、日本神経科学学会、日本獣医学会、日本看護学教育学会、日本メディカルイラストレーション学会、埼玉県立大学保健医療福祉科学学会(理事)、日本人間工学会システム大会部会				

【2019年度実績】

1. 研究業績						
(1) 著作						
	著作の名称	単・共	ISBN	発行所、全ページ数	著者、編者名	発行等年月
1	該当なし					
(2) 論文						
	論文の名称	単・共	査読	雑誌名、巻(号)、開始-終了ページ	著者、編者名	発表等年月
1	該当なし					
(3) 学会発表						
	学会発表の演題	単・共	学会名、開催都市	発表者(発表者は○印)	発表等年月	
1	運動期間の違いが肺胞やサイトカインにおよぼす影響-COPD廃用モデルマウスによる検討	共同	第56回日本臨床生理学会総会、さいたま市	○丸岡 弘、田中健一、高柳雅朗、善田聡史、小川明宏、木戸聡史	2019.10	
2	肺の学習教材ペーパークラフトの開発	共同	第28回日本人間工学会システム大会、八王子市	○高柳雅朗、野崎真奈美、小林里美	2020.3	
3	脾臓の学習教材ペーパークラフトの開発	共同	第125回日本解剖学会総会・全国学術集会、宇部市	○高柳雅朗、小林里美、井上由理子、野崎真奈美	2020.3	
4	神経細胞内へのMnイオンの流入測定を利用したアルツハイマー病モデルマウスのMn-MRI法による病態測定および機能解析	共同	第125回日本解剖学会総会・全国学術集会、宇部市	○井上由理子、江連博光、澤智華、畑春実、高柳雅朗、伊藤純治、森山浩志、白石貢一、馬目佳信、井上明男、大塚成人	2020.3	
(4) その他						
	名称	単・共	発表場所等	発表者(発表者は○印)	発表等年月	
1	該当なし					
2. 競争的資金等の研究						
	競争的資金等の名称		研究名	研究代表者・研究分担者の別	研究期間	
1	文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金(基盤研究C)□		人体解剖生理学の学習教材ペーパークラフトの開発とその教育効果	研究代表者	2018.4-2021.3	
2	埼玉県立大学奨励研究費		頭蓋骨の解剖学教材ペーパークラフトの開発	研究代表者	2019.4-2020.3	
3. 教育業績						
(1) 講義						
	講義の名称	科目責任者	コマ数	概要(教育内容・方法等において工夫した点)		
1	解剖学①、②	○	30	1年次生を対象に、人体模型を用いて立体的な理解が出来るよう工夫した。自分および他者の身体での理解もできるよう努めた。		
2	解剖学特論	○	15	1年次生を対象に、人体模型を用いて立体的な理解が出来るよう工夫した。体表解剖学的観点からも自分および他者の身体を理解できるよう努めた。		
3	応用人体構造機能論	○	9	大学院博士前期課程の学生に対し、中枢神経系の講義をした。		
4	解剖学II	○	7	看護学生に解剖学の講義を行った。人体模型を用い、立体的かつ自分の身体での理解を促すよう努めた。□		
5	国家試験対策特別講義(解剖生理学)	○	6	看護学生に国家試験対策として、過去の出題問題の解説等を中心に解剖生理学の講義をした。□		

(2) 演習				
	演習の名称	科目責任者	コマ数	概要(教育内容・方法等において工夫した点)
1	IPW論		15	2年次生を対象に、チームワークの演習、リフレクションの演習、模擬IPWを通してIPWの理解を深めるよう講義と指導をした。
2	理学療法特別演習		0.5	理学療法士国家試験の過去の出題問題を踏まえつつ、中枢神経系の解剖学に重点をおいて講義した。
3	保健医療福祉演習(応用人体構造機能I・II)	○	32	大学院博士前期課程の学生に対し、形態学的研究法および組織学的研究法について講義および演習をした。
(3) 実習				
	実習の名称	科目責任者	学外実習: 期間 学内実習: コマ数	概要(教育内容・方法等において工夫した点)
1	解剖学実習(理学・作業)	○	24	理学療法学科・作業療法学科の1年次生に対し、人体模型を用いて骨、筋、脳、内臓の各構造について実習をした。
2	解剖学実習(行動)	○	16	健康行動科学専攻の1年次生に対し、人体模型を用いて内臓、骨、筋、脳の各構造について実習をした。
3	ヒューマンケア体験実習		2019.9	1年次生を対象に、学外施設および学内での実習が円滑にすすむようサポートした。
(4) 論文指導				
	対象	期間	主指導・副指導の別及び指導人数	
1	卒業論文	2019.6-2021.3	主指導	名 副指導 2名
2			主指導(指導教員)	名 副指導(指導補助教員) 名
3			主指導(指導教員)	名 副指導(指導補助教員) 名
(5) その他				
	名称	期間	概要(教育内容・方法等において工夫した点)	
1	ブタ内臓の解剖学実習	2019.12	看護学生に市販のブタ内臓(心臓、肺、腎臓、脳、眼球)を用いて解剖学実習を行い、学生が能動的に実習するよう指導した。	
4. 社会貢献活動				
(1) 講演会、研修会、公開講座等の講師				
	講演会、研修会、公開講座等の名称	主催	講演、研修、公開講座等のテーマ	開催年月
1	該当なし			
(2) 国、自治体、学術団体等における委員等				
	国、自治体、学術団体等の名称	委員等の名称	任期	
1	埼玉県立大学保健医療福祉科学学会	理事	2019.4-2020.3	
2	社会福祉法人 気づき	評議員	2018.4-2022.3	
(3) ジャーナリズムでの発言				
	メディア等の名称	内容	年月	
1	該当なし			
(4) その他				
	項目	相手方等	内容	期間
1	該当なし			
5. 学内運営				
	項目	内容		期間
1	学科等における委員会等	学部 教務委員会 委員		2019.4-2020.3
2	大学広報活動	オープンキャンパスへの参加		2019.8
6. 受賞(研究、教育、社会貢献活動に関するもの)				
	受賞名	主催	受賞年月	
1	該当なし			
7. 特許の取得				
	特許名	特許番号	登録年月	
1	該当なし			
8. 特記事項				
埼玉県立大学 WEB講座、第14回 生きる力、その1: 生物としての生きる力、2019.5				